テーマ	保存・伝承すべき内容	取組案
情報発信	・石見神楽を創り出したまちとしての市民の誇り ・歴史や資料	【PR】 • 浜田における石見神楽の定義を明確にし、浜田が発祥であるということを発信する。 • 観光客のための効果的なプロモーション（行政や観光協会などの関係機関の役割分担の整理など）。 • デジタル化に対応した情報発信。 • 浜田市独自のPR動画の制作。 • 六調子、八調子の違いなどをプロモーションする。 • 日本遺産になった要因、伝統芸能としての価値、演目の価値などをしっかり伝えていく。 • 神楽関係者の想いを発信していく。市民にわかりやすいよう背景なども伝えていく。 • それぞれの社中が舞っている場所に行ってもらい、本物を見てもらう仕組みづくり。 【体験・学習機会の創出】 • 歴史の変遷、県外や海外公演の歴史、石見神楽の特徴などを学べる機会を作る。 • 地域住民が参加できるワークショップや体験イベントを行う。 【拠点施設】 • 面、衣裳や楽器を見たり触れたり、石見神楽について学べる場所の整備。 • 一カ所に施設を創る場合、展示もできて、石見神楽産業に関わる資料や道具等を保存した上で、石見神楽の文化歴史を研究する「石見神楽研究センター」としての位置付けが必要。 • 石見神楽に関する総合センターとして企画立案や本物を見てもらうための拠点施設を整備する。 • 歴史、資料、神楽台本を体系的に展示したり、収蔵庫を見せる（オープンストレージ）展示を行う展示・情報発信施設の整備。

【その他】